



<http://www.ogc.co.jp/>

OSAKA GAS CHEMICALS
COMPANY PROFILE

私達は Sustainable Value Creator を目指します!

大阪ガスケミカルグループは、Daigasグループの中核会社のひとつとして、ケミカルビジネスの開発と発展を担っており、お客さまにケミカル材料とソリューションをご提供しています。

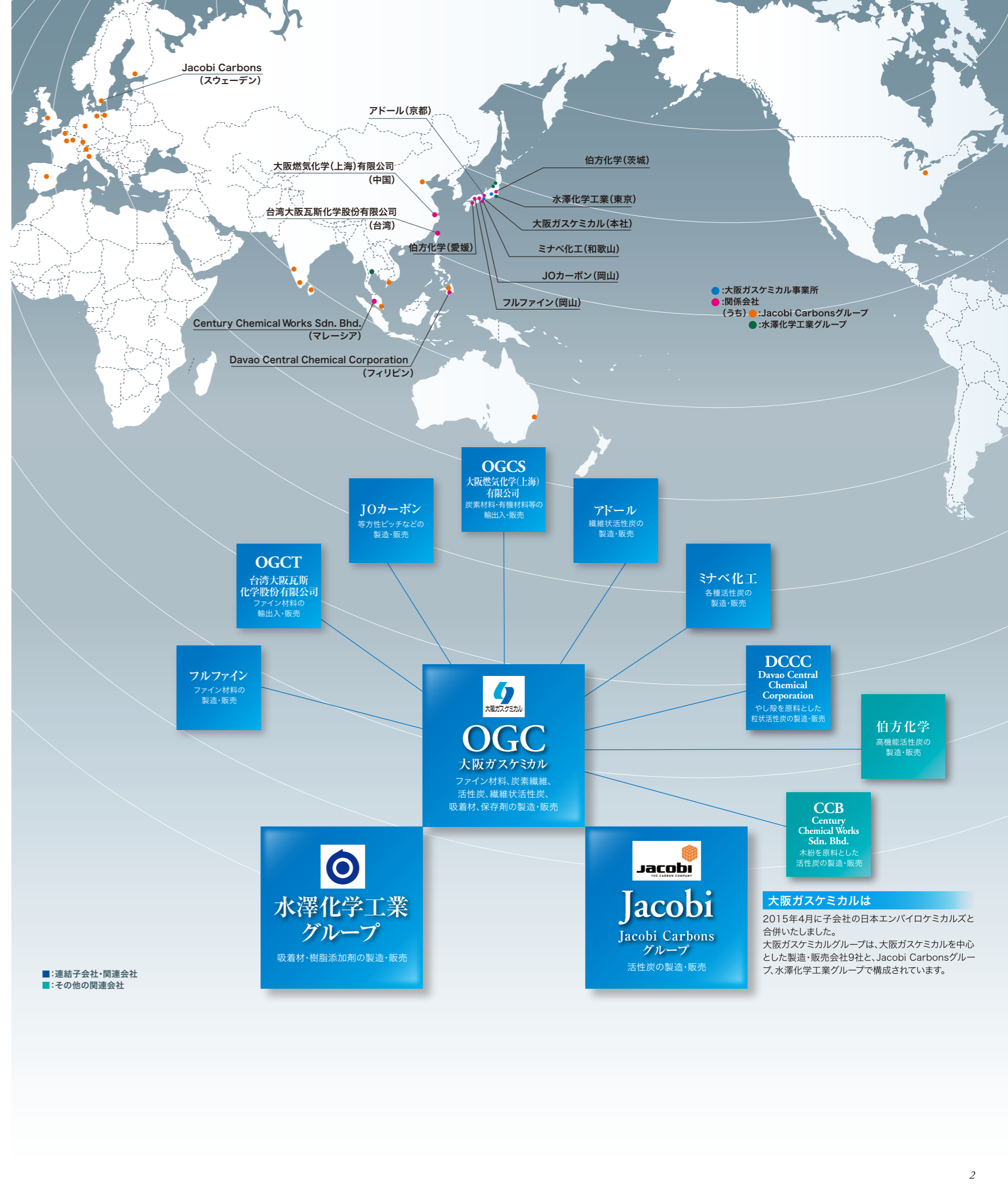
大阪ガスが蓄積してきた石炭化学技術と医薬・農業関連事業で培った技術をコアとし、お客さまのニーズにお応えする材料を開発・製造・販売し、新エネルギー、環境、エレクトロニクス分野の多様な製品を支える材料として、さまざまなお客さまにご利用いただいています。

2014年には世界に広がる活性炭製造・販売会社のJacobi Carbonsグループが、2015年には無機微粒子材料の製造・販売会社である水澤化学工業グループが加わり、提供する商品群の幅を広げております。

これからも、保有する技術やノウハウを結集し、お客さまのニーズに合う新製品や技術の開発に挑戦し、よりよい生活環境の創造をめざしてまいります。

経営理念

我々は、高機能素材分野で独自の技術をもって、お客さまのニーズを先取りした高品質の商品群を開発、提供し続けることにより、「豊かな環境づくり」と「快適な暮らし」を実現することで、人々の生活の質の向上に貢献します。



大阪ガスケミカルは
2015年4月に子会社の日本エンバイロケミカルズと合併いたしました。
大阪ガスケミカルグループは、大阪ガスケミカルを中心とした製造・販売会社9社と、Jacobi Carbonsグループ、水澤化学工業グループで構成されています。



大阪ガスケミカルは、お客さまの製品の付加価値の向上を実現する機能性化学事業を展開しています。

素材の持つ可能性を追求する。

大阪ガスケミカルは、大阪ガスが石炭から都市ガスを製造していた時代から長い歳月をかけて培ってきた石炭化学技術を受け継ぎ、さらに発展させた技術によって、これまでに、ピッチ系炭素繊維や繊維状活性炭、フルオレン誘導体などの優れた特性を有する素材と、それらの素材を用いた断熱材、浄水器カートリッジ、レンズ用樹脂などの加工品を生み出してきました。

また、武田薬品工業の、医薬・農業関連事業を源流とした長い歴史と実績に裏付けられた国内トップブランドの活性炭「白鷲」や木材保護塗料「キシラデコール」を継承し、お客さまのニーズにあわせたカスタマイズや新製品開発に積極的に取り組んでまいりました。

わたしたちは保有する材料の特長を生かせるさまざまな用途開発を進め、世界中の多くのメーカーさまの製品を支える材料、部材として、お客さまにご利用いただき、それぞれの業界のリーディングカンパニーとして多くのご支持をいただいています。

わたしたち大阪ガスケミカルはこれからも高度な技術と豊富なノウハウを結集し、お客さまとともに未来を切り拓いていきます。

事業分野

炭素繊維

石炭ピッチを原料としたピッチ系等方性(汎用)炭素繊維「ドナカーボ」は、耐熱性、耐摩耗性、導電性など様々な特長を持ち、高温炉用断熱用途や摩擦材用途など幅広い分野で使われています。



ファイン材料

コールタールからつくられるフルオレン誘導体は、光学特性や耐熱性に優れ、携帯用カメラレンズ、液晶ディスプレイ材料、半導体関連材料として生活に身近な製品に使われています。



活性炭

活性炭「白鷲」ブランドは、その技術の高さ、品質、性能の良さで、食品、医薬品から浄水場やゴミ処理場、工場での溶剤回収など、幅広い分野で使われています。またお客さまのご要望にお応えする活性炭加工製品を実現し、快適な環境づくりに役立っています。



保存剤(木材用・工業用)

「キシラデコール」、「キシラモン」などの木材保存剤は、木造建築物を紫外線や風雨などによる劣化や腐朽、シロアリの害から保護します。また、工業用保存剤は幅広い産業分野で製造工程に潜む微生物による汚染被害を防ぎ、また、お客さまのご要望にお応えして、製品に抗微生物性機能の付与を行っています。



コーポレート研究所

フロンティア マテリアル研究所

2013年、研究開発の更なる強化を目的に「フロンティア マテリアル研究所」を開設しました。将来成長が期待される分野での新たな材料の創出や新規技術による事業分野の拡大、各事業に関わる材料技術を基盤とした新規用途の開発を継続的に実施していくことを目指しています。



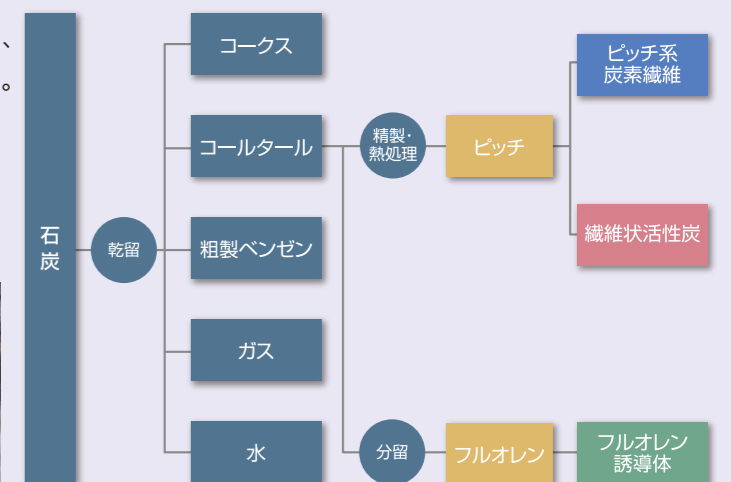
石炭からのビジネス展開

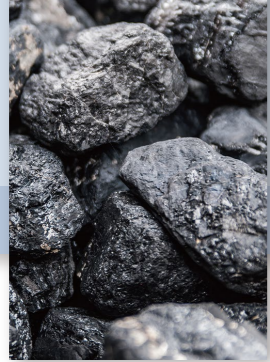
石炭を密閉状態で加熱(乾留)すると、コークス、ガス、ベンゼン、コールタールなどに分離・分解されていきます。コークスは製鉄用の材料に、ガスは都市ガスに、ベンゼンは化学品として利用される一方で、様々な炭素化合物からなるコールタールからは、優れた特性を有する石炭ピッチに変成させたり、ユニークな化学構造をもつフルオレンを抽出することができます。



石炭を知り尽くした大阪ガスケミカルだからこそ、石炭のもつ可能性を引き出すことができるのです。

石炭からの製品へのプロセス





炭素の力を活かす。

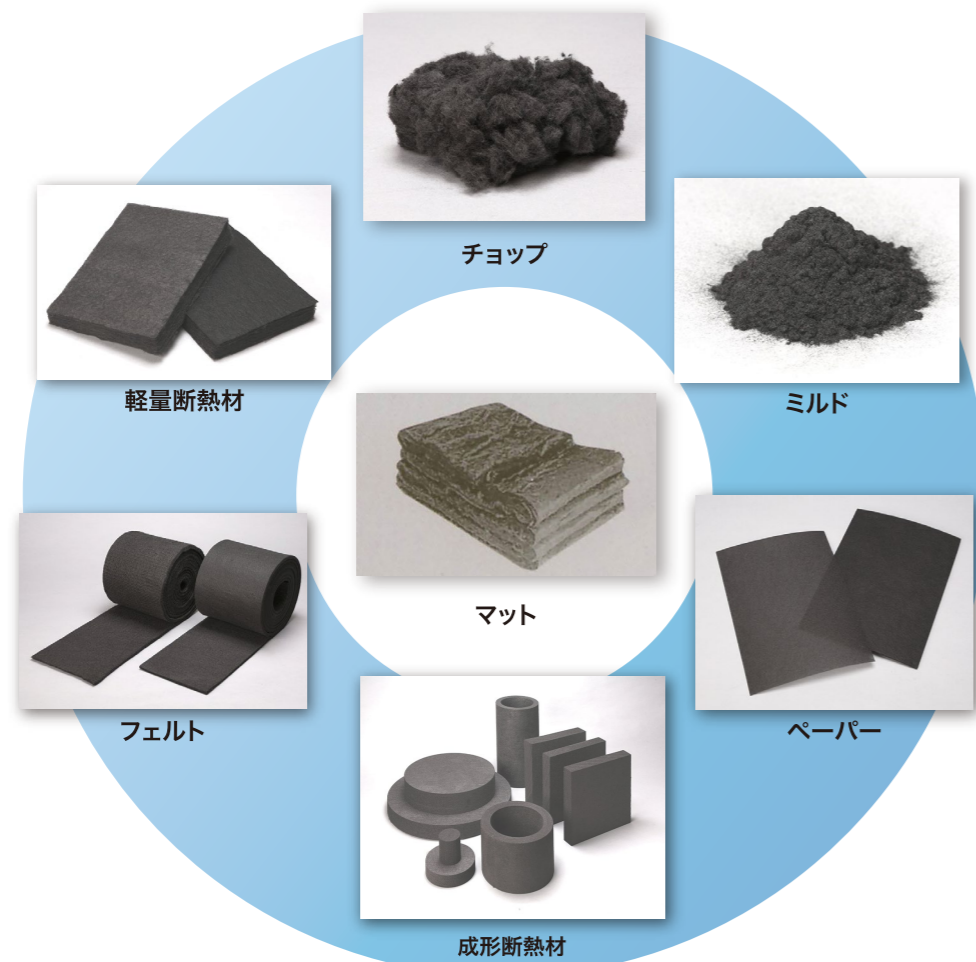
炭素の無限の可能性を信じて、幅広いニーズにお応えできる商品を開発・提供しています。

炭素繊維

大阪ガスケミカルの炭素材料は、石炭ピッチを原料とし、独自の紡糸・焼成技術で製品化したピッチ系等方性(汎用)炭素繊維「ドナカーボ®」とその応用製品です。

渦流法で繊維化したドナカーボはカールしており、繊維どうしの絡みが良く、断熱性、耐摩耗性、摺動性、導電性にも優れています。半導体用シリコン結晶成長炉などの高温炉の断熱材、鉄道車輛などの吸音断熱材、摩擦材、電池電極材など、これらの特長を活かした広範な用途でご利用いただいています。

お客さまの仕様に合わせて、成形品、フェルト、ミルド、チョップなどの多様な製品を揃えています。

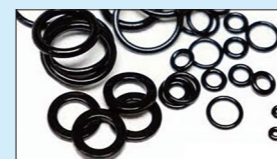


添加剤(ドナカーボ・チョップ、ドナカーボ・ミルド)

ドナカーボ・チョップは、ドナカーボ原糸を3mm~10mmにカットしたもので、表面処理はしていません。

ドナカーボ・ミルドは、ドナカーボ原糸を3mm未満に細かく粉砕した流動性の良い粉体です。

粉体、粒体、液体、樹脂あるいはゴム等と複合でき、複合体の力学特性、導電性、耐熱性、耐腐食性あるいは耐摩耗性を向上させます。



O-リング



AT車クラッチ表面材



クリーンルーム 導電床材

軽量断熱材(ドナクールライト)

ドナクールライト(DCL)は、カールしたドナカーボの特色を生かした、軽量・不燃・圧縮回復性に優れた吸音断熱材です。

安全性が高く、施工性、耐久振動性にも優れていますので、特に鉄道車輛用などの吸音断熱材や、シート材(座席)として好適に使用できます。



東海道新幹線



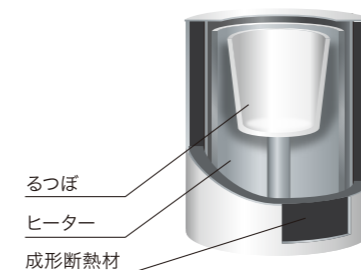
イギリス高速鉄道



台湾高速鉄道

ドナカーボ・成形断熱材

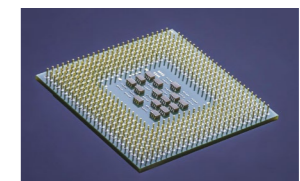
ドナカーボ成形断熱材は、ドナカーボ・フェルトを基材に、炭化率の高い樹脂を含浸させ、目的に応じた形状に成形、硬化、炭化、黒鉛化処理を施したもので各種結晶成長炉や工業炉に使用されています。特長として、純度と均質性に優れています。



半導体用シリコン結晶成長炉



シリコンインゴット



半導体チップ

素材の力で世界を変える。

デジタル家電や通信機器、環境問題など
最先端のニーズに応える新素材を開発・提供しています。

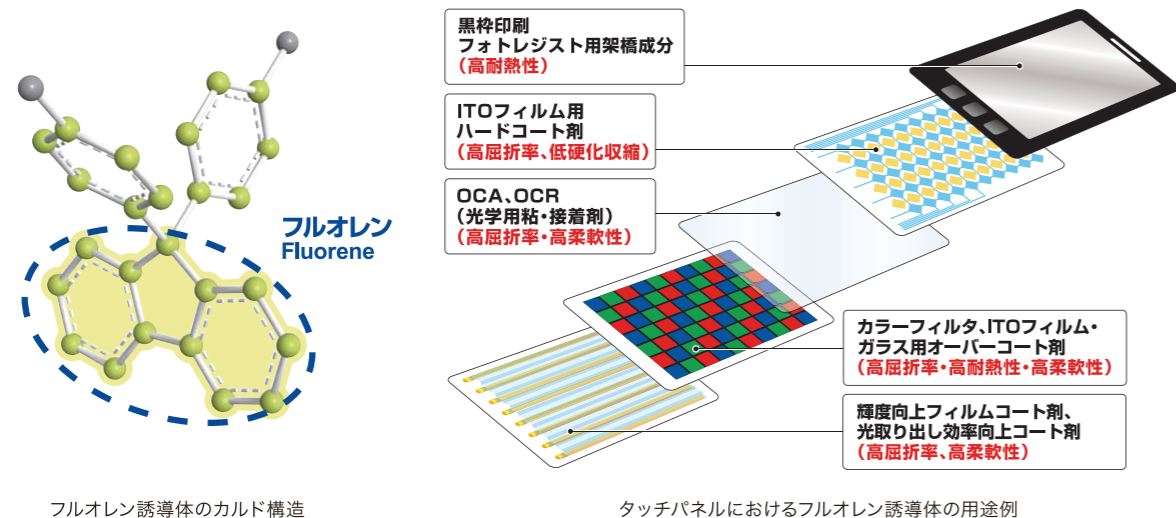
大阪ガスケミカルのファイン材料は、コーラタールの利用技術開発で培った有機合成技術、ポリマー技術、配合技術、成形技術などを活用して開発・製造した高付加価値な化学製品です。フルオレンやポリシランといった特長な化学物質を起点に、高度化するデジタル家電の分野などで高まっている高屈折率や高耐熱性、光反応性などの要求に応える様々な素材を提供しています。

さらに、配合技術、成形技術の技術プラットフォームを活用して、環境問題や生産性向上などに対するソリューション技術の提供も行っています。

フルオレン誘導体

フルオレンは、コーラタールに含まれる有用成分のひとつです。フルオレンに各種芳香環を結合させたフルオレン誘導体は、カルド構造と呼ばれる特殊なちょうつがい構造をもち、高耐熱性、高屈折率、低複屈折などの特長があります。大阪ガスケミカルでは、フルオレンのパイオニアとして、種々のフルオレン誘導体を提供しています。

- ◆モノマーは、フルオレン骨格を有するビスフェノール・ビスアルコールです。各種光学樹脂の原料としてご使用いただけます。
- ◆光硬化性樹脂アクリレートは、高屈折率・高耐熱性・高硬度などの特長を有しています。優れた光学性能を利用して、液晶フィルム用材料などに使用されています。
- ◆エポキシ樹脂は、高屈折率・高耐熱性・高弾性などの特長を有しており、液晶レジスト材料などに使用されています。

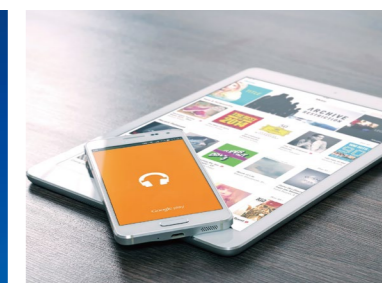


光学用ポリエステル樹脂 (OKP)

光学用ポリエステル樹脂「OKP®」は、1.6以上の高い屈折率と極めて低い複屈折を有した熱可塑性樹脂です。携帯電話・スマートフォンやデジタルカメラの薄型化・軽量化を可能とする高性能レンズ材料として使用されています。



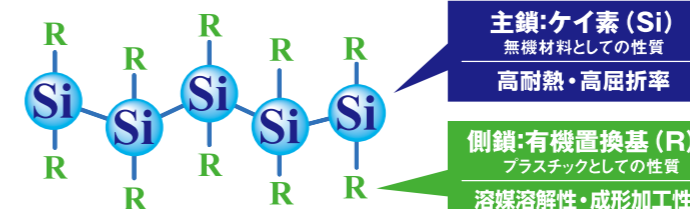
光学レンズ



各種デジタル機器

ポリシラン

ポリシランはケイ素を主鎖とする材料です。撥水性やポリオレフィン樹脂相溶性、接着性、難燃性、耐熱性、耐酸化性、高屈折率、光反応性などの特長を有しているため、フィルムや配管用樹脂の添加剤、コーティング材料の高性能化、レジスト材料などに適しています。



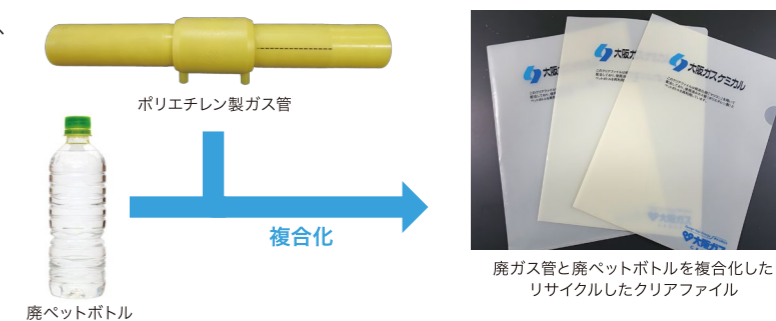
ポリシランの構造



樹脂配管

相溶化剤

相溶化剤「マリコン®」を配合することで、通常では混ざり合わないポリエチレンとPETなどを相溶させ、それぞれの特長を合わせ持った複合樹脂に改質することができます。また、フィラーや添加剤と樹脂との相溶化にも応用でき、樹脂への機能性付与を可能にします。





水と空気をきれいにする。

世界トップクラスの活性炭メーカーとして、豊かな生活と環境改善に世界中で貢献します。

活性炭は、食品、酒、医薬品などの製造工程での精製、浄水器・空気清浄器やタバコのフィルターなどの生活用品・嗜好品のほか、浄水場や下水処理場での水質改善や脱臭、ゴミ処理場でのダイオキシンの除去、化学工場での揮発性物質の回収など、豊かな生活とエコロジーの両立を支える大切な役割を果たしています。

大阪ガスケミカルでは、グローバルな原料(ヤシ殻、木粉、石炭等)調達から、粉末状や粒状、繊維状といった様々な活性炭製造、さらにフィルター等の加工品、最終商品まで、バリューチェーンを一貫して行うことで、お客さまのあらゆるニーズにお応えしています。

信頼のブランド「白鷺」

医薬品製造のDNAを受け継ぐ、大阪ガスケミカルの活性炭は、1937年の製造開始以来、着実に研究開発を積み重ねることで、「白鷺®」ブランドとして業界トップクラスの高い技術力と豊富なノウハウを確立し、世界中のお客さまに愛用されています。



白鷺®

「白鷺」の歴史

- 1937年 武田薬品工業において「白鷺」ブランドの活性炭を製造・販売
- 2003年 武田薬品工業の100%子会社 日本エンバイロケミカルズとして分社
- 2015年 合併により、大阪ガスケミカルの「白鷺」へ



木材

ヤシ殻

石炭

活性炭製造技術



粉末状活性炭



粒状活性炭



繊維状活性炭(ACF)

設計・加工技術



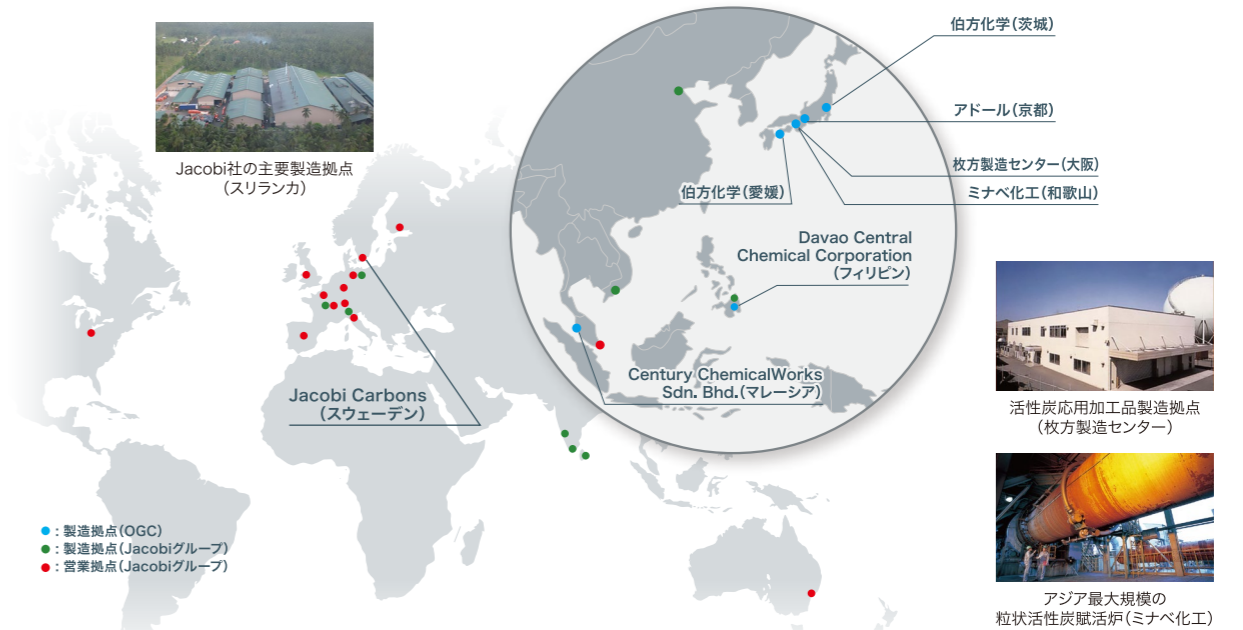
加工品ソリューションの提供

大阪ガスケミカルグループの粒状活性炭や繊維状活性炭をベースとして、優れた設計配合技術と加工技術により、お客さまのご要望に応じた製品を設計・製造いたします。家庭用浄水カートリッジをはじめ工業用水処理・溶剤回収、空気清浄機、医療用・工業用脱臭など水と空気に関するご要望を承ります。

世界に広がるネットワーク

フィリピン、マレーシアの関係会社と連携したグローバルな原料調達と、国内各所に分散した拠点で日本仕様の製造を一貫して行うことで、高性能な活性炭を安価で安定的に供給しています。

さらに、2014年にJacobi社をグループに加え、世界トップクラスのグローバル活性炭メーカーとして、グローバル仕様の製品を世界各地の製造拠点から100か国以上のお客さまに供給しています。



活性炭応用加工品製造拠点 (枚方製造センター)



アジア最大規模の粒状活性炭賦活炉(ミナベ化工)

大阪ガスケミカル株式会社 枚方製造センター	〒573-0003	大阪府枚方市出屋敷西町一丁目38番1号
ミナベ化工株式会社	〒645-0011	和歌山県日高郡みなべ町気佐藤173番地の1
伯方化学株式会社	〒794-2305	愛媛県今治市伯方町木浦乙290番地
伯方化学株式会社 (関東工場)	〒301-0852	茨城県竜ヶ崎市向陽台二丁目1番2
株式会社アドール	〒611-0021	京都府宇治市宇治戸ノ内5番地
Davao Central Chemical Corporation (DCCC)		Km.19 Tibungco, Davao City 8000, Philippines
Century Chemical Works Sdn.Bhd. (CCB)		Mk. 1, No. 1026, Lorong Perusahaan Dua, Pari Industrial Complex, 13609 Prai, Province Wellesley, Penang, Malaysia
Jacobi Carbons グループ		(スリランカ、インド、ベトナム、フィリピン、中国、欧州、北米など)



木を守り、暮らしを豊かに。

木造建築物を内外から守り、美しく保ちます。

低炭素社会を実現するためには、貴重な資源である木材を大切に手入れし長く利用していくことで、二酸化炭素を吸収する森林を保全する必要があります。木材保存剤は、木造建築物が紫外線や風雨により劣化したり、腐朽菌などにより腐朽することを防止し、さらにシロアリの害などから守る、木材の薬として、環境保護に役立っています。

大阪ガスケミカルの木材保存剤は、信頼のブランドとして、一般住宅や公共施設で広くご利用いただくとともに、数多くの歴史的建造物、重要文化財や国宝の美観保護と維持補修にも貢献しています。

木材保護塗料

木材保護塗料「キシラデコール®」は、優れた防腐・防カビ・防虫効果を持つ有効成分が木材の内部に浸透し、木を内側から保護する一方で、耐候性に優れた顔料が木の表面を紫外線や風雨による劣化から守ります。塗膜を作らないため、木の風合いを損ねず、木目や木肌の美しさを際立たせ、木本来の魅力を引き出しながら耐久性を向上させることができます。さらに、再塗装などのメンテナンスも容易です。



業務用キシラデコール



ホームセンター用キシラデコール



八甲田ホテル(キシラデコール施工)



熊本城(キシラデコール・キシラモン施工)

シロアリ防除剤

木造建築物を恒久的に保存するには高度な保存技術と高性能な薬剤処理が必要不可欠です。当社は1964年の「キシラモン®」発売以来、数々の国宝・重要文化財建造物の保存を通し、人や環境面への負荷に配慮した技術を高めて参りました。この「キシラモン®」の実績・技術を基に一般家庭向けに開発した製品が「タケロック®」です。これまでに用途に合わせ、マイクロカプセル剤をはじめ様々な独自製剤を開発して参りました。これからも技術革新に邁進し、国宝・重要文化財建造物から一般住宅まで、木造建築物を害虫・腐朽から守り続けます。



タケロック



キシラモン



厳島神社(キシラモン施工)



姫路城(キシラモン施工)

モノづくりを支える。

お客様のホームドクターとして、微生物・害虫から製品を守ります。

工業用保存剤は、建材、繊維、製紙、塗料など様々な分野で、工業製品の微生物・防虫対策として使用されています。製品の品質維持や防かび、防藻、防虫などの機能を付与させる薬剤です。塗料、インキ、絵の具、壁紙、接着剤、エアコン用フィルター、芳香消臭剤など様々な分野で豊富な実績があり、高い技術力、豊富なノウハウによって、お客さま毎に異なる個別の課題を解決します。

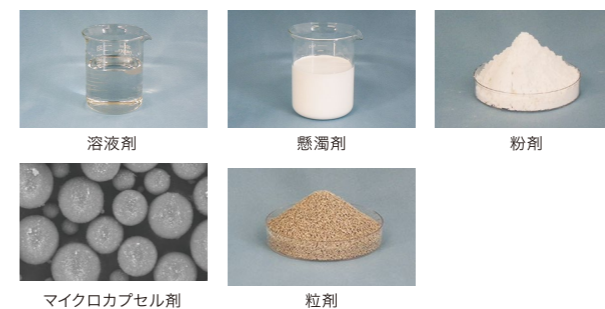


カスタマイズで応える

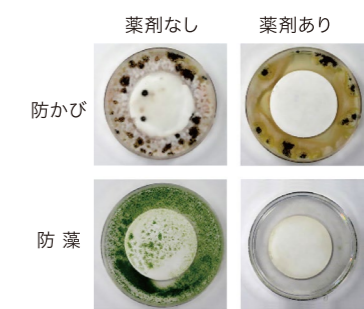
お客さまからお示し頂いた、微生物による様々な汚染・被害の状況に対して、システマチックな試験によって、原因の特定、薬剤の選定・組み合わせと効力の測定・検証を行い、お客さまの問題を根本から解決する総合的ソリューションを迅速にご提示いたします。

工業用保存剤

■目的に応じた溶剤・剤型



■当社薬剤の効力



工業用防腐剤	工業用防かび剤	工業用防藻防かび剤	工業用殺菌剤	光触媒型消臭剤
各種分野向け。 デルトップは40年を超えるロングセラー。	塗料、建築材料、各種分野向け。	塗料、建築材料など住宅の外装塗料向け。	各種分野向け。	塗料、建築材料分野向け。 アンモニア臭や生活臭、ホルムアルデヒドの吸着・分解。
・デルトップシリーズ ・スラオフシリーズ ・スラウトシリーズ	・コートサイドシリーズ 他	・モニサイドシリーズ	・フレッシュメイトシリーズ ・スラモニシリーズ	・セプトールNシリーズ



表面処理加工



大阪ガスケミカル

生産効率を向上させる。

金属表面の悩みに解決法を提案し、最先端技術を駆使したコーティングを提供します。

表面処理加工

フッ素樹脂やシリコン樹脂の有機材料とセラミックなどの無機材料を複合化した特殊コーティング技術を用い、あらゆる産業分野における付着、潤滑、摺動、摩耗および腐食の問題を解決する表面処理加工の受託を行っております。

国内最大級の大型焼成炉を保有し、最大2.5m×2.5m×10mの大型基材のコーティングが可能です。また、自社で独自開発した有機・無機ハイブリッドコーティング材料を用いることで、より高性能な非粘着性、摺動性を実現できます。

製造工程



溶射



コーティング



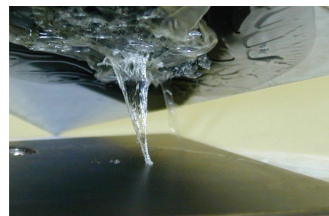
焼成



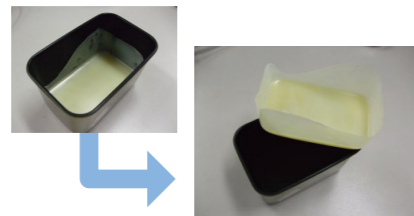
2.5m×2.5m×10mの基材に対応できる大型焼成炉

付与できる特性の例

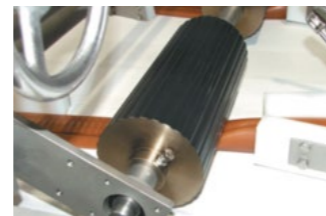
非粘着性、滑り性、耐薬品性、帯電防止性、耐熱性、耐摩耗性、耐腐食性



業務用の糊や樹脂が固まったあとも簡単に剥がすことができる



ホットメルト樹脂を容器から簡単に剥がすことができる



ガムをローラで容易に伸ばすことができる

用途例

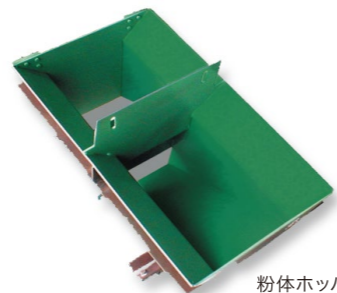
工業用ロール(製紙用、粘着テープ製造用など)、金型、治具類、ホッパー、配管、タンク、食品機器(焼き網)など



工業用ロール



コンロ焼き網



粉体ホッパー

会社名

大阪ガスケミカル株式会社
Osaka Gas Chemicals Co.,Ltd.

設立年月日

会社設立 1931年9月21日
事業開始 1949年6月29日

事業所

本社	〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号ドームシティガスビル	TEL 06-4393-0181 FAX 06-4393-0191
東京事業所	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目6番1号 日本橋本町プラザビル	TEL 03-6661-9241 FAX 03-3662-8612
商品開発センター	〒554-0051 大阪市此花区西島五丁目11番61号	TEL 06-6467-1200 FAX 06-6467-1244
フロンティアマテリアル研究所	〒554-0051 大阪市此花区西島五丁目11番61号	TEL 06-6467-1571 FAX 06-6467-1604
枚方製造センター	〒573-0003 大阪府枚方市出屋敷西町一丁目38番1号	TEL 072-898-0109 FAX 072-898-0136
奈良表面加工センター	〒632-0251 奈良市針町3977番地の1	TEL 0743-82-1890 FAX 0743-82-1922

事業内容

- 炭素繊維、炭素繊維応用商品の開発・製造・販売
- 繊維状活性炭、吸着材の開発・製造・販売
- ファイン材料の開発・製造・販売
- 活性炭の開発・製造・販売
- 木材保護塗料、シロアリ防除剤、工業用保存剤の開発・製造・販売

資本金

142億円 (株主:大阪ガス株式会社)

従業員数

約400名

沿革

1931年
会社設立

1949年
社名変更し、「近畿コークス株式会社」として、コークス販売事業を開始

1947年
「関西タール製品株式会社」をベンゼン・タール製品販売会社として設立

武田薬品工業株式会社

1937年 白鷲ブランドの活性炭製造・販売を開始
1964年 シロアリ防除剤キシラモンの輸入販売を開始
1969年 活性炭の製造販売を目的にミナベ化工株式会社を設立
1971年 木材保護塗料キシラデコールの輸入販売を開始
1994年 両事業を統合し、生活環境事業部発足

大阪ガスケミカル株式会社

1991年 コークス、化成品、炭素材事業を統合し、「大阪ガスケミカル株式会社」に社名変更
1992年 枚方製造センター開設
1996年 電極材料事業の開始
2001年 ファイン材料事業の開始
2004年 奈良表面加工センター開設
2005年 ドナックセンター開設(現CF材料製造センター)
2013年 フロンティアマテリアル研究所(研究棟)開設
2014年 活性炭製造・販売会社の「Jacobi Carbons ABおよびその関係会社」をグループ会社化
2015年 大阪ガスケミカルと日本エンパイロケミカルズが、「大阪ガスケミカル株式会社」として合併
2015年 吸着材・樹脂添加剤の製造・販売会社の「水澤化学工業およびその関係会社」をグループ会社化

日本エンパイロケミカルズ株式会社

2003年 生活環境事業部が分社化され、「日本エンパイロケミカルズ」として設立
2005年 大阪ガスケミカルのグループ会社となる



大阪ガスグループは、Daigasグループへ。